

RACE REPORT




 Round.05 **SUGO**
第5戦 スポーツランド SUGO

2023年6月18日(日)

決勝

天候：晴れ 路面：ドライ

#38 坪井 翔

決勝：7位

#39 阪口 晴南

決勝：10位

阪口晴南は思わぬ不運に見舞われてしまったものの、坪井翔は予選4番手と、これまで決して相性が良いわけではなかったスポーツランド SUGO で速さをみせることができた P.MU/CERUMO・INGING。ただ、これまでのシーズンでは上位にはつけてはいるものの、なかなか優勝に手が届いて

いるわけではない。坪井にとっても阪口にとっても、決勝レースでのペース改善が勝利への大きな課題とも言えた。

坪井はさらなる上位進出を、阪口は今後に関がるレースを目指すべく、P.MU/CERUMO・INGING は6月18日(日)の決勝日に臨んだ。

PRACTICE フリー走行

 6月18日(日) 9:55～10:25 天候：晴れ 路面：ドライ
 ベストタイム #38 坪井翔 1'08.636 / #39 阪口晴南 1'08.769

前日から初夏の陽気に恵まれたスポーツランド SUGO は、決勝日となる6月18日(日)も朝から気温27度/路面温度38度という暑さながら、8,000人のファンが訪れるなかで午前9時55分からフリー走行がスタートした。

坪井、阪口ともにコースイン後一度ピットイン。決勝レースを見据えたロングランを行い、セットアップの確認を行っていった。

前日の公式予選のようにアクシデントが発生することはなく、赤旗中断がないまま各チームとも30分の走行時間を有効に使いながらラップを重ねていった。

そんななか坪井は6周目～9周目に相次いで1分08秒のラップタイムを記録。8周目には1分08秒636というベストタイムを記録し、このフリー走行のトップで決勝に向けて好感触を得た。

一方の阪口は、8周目に1分08秒769というベストタイムを記録。最後尾からのスタートとなるが、こちらもレースに向けてたしかな手ごたえを得た。このスポーツランド SUGO はオーバーテイクがしづらいことから、大幅なポジションアップは難しいかもしれないが、決勝レースへ向けこちらも好感触のもと午前の走行を終えることになった。

この SUGO はタイトであることから、早めのピットインを行った場合、トップの車両の位置によってはラップダウンにされてしまう恐れがある。チームはそのリスクを避けるべく、決勝レースでは坪井、阪口ともに比較的後半までピットストップを遅らせる戦略を立てていった。

前日も立川祐路監督が語っていたように、レースの流れをうまく読むことが重要。そのためにも良いレースペースが必要ではあったが、午前のフリー走行ではそのポテンシャルが2台とも十分ありそうなことが確認できた。



RACE

決勝レース

6月18日(日) 14:30～ 天候:晴れ 路面:ドライ
ベストタイム: #38 坪井翔 1'08.617 (39L) / #39 阪口晴南 1'08.900 (39L)

気温 28 度 / 路面温度 36 度と、真夏のような暑さのなかで迎えた午後 2 時 30 分からの決勝レース。ただ午前には比べて雲が多く、日射しはそこまで強いものではなかった。

1 周のフォーメーションラップを経て迎えたスタートでは、坪井が好スタートを決め 3 番手につける。また阪口も最後尾から好スタートを決めるとふたつポジションを上げ 20 番手に浮上した。ただ、直後オープニングラップの S 字で 16 番手スタートの #36 ジュリアーノ・アレジと 17 番手スタートの #19 関口雄飛がアクシデントによりストップしたことから、1 周目からセーフティカーランとなった。

リスタート後、坪井はトップの #53 大湯都史樹、2 番手の #37 宮田莉朋を追っていくが、#53 大湯のペースが上がらない。10 周目を過ぎるとピットインを行う車両が出始めるなか、13 周目には #37 宮田が #53 大湯をオーバーテイク。坪井もこれに続き 15 周目の 1 コーナーで #53 大湯をかわすと 2 番手に浮上した。ただ一方で、今度は今季争うことが多い #15 リアム・ローソンが坪井に接近してくる。17 周を終え #37 宮田がピットインしたことから坪井はトップに浮上することになったが、レース後半に向けてマージンを稼ぎたいところだったものの、後方からピタリと #15 ローソンが続く展開に。しかも、午前中に良いフィリングだった坪井のラップタイムが上がらず、フリー走行こそ 1 分 08 秒台が相次いで出せていたにもかかわらず、決勝では 1 分 09 秒台から 1 分 10 秒台のタイムで推移することになってしまった。

一方、後方からアグレッシブなレース展開をみせていたのは阪口だ。セーフティカー明けの 5 周目にふたつポジションを上げ 18 番手につけると、17 周目には #4 小高一斗をかわし、16 周目には #51 ラウル・ハイマンをパス。抜きづらい SUGO で下位グループとは別格のようなポテンシャル

をみせつける。特に速いのが最終コーナーで、そのスピードがオーバーテイクに繋がっていた。予選での不運が悔やまれるところではあったが、そんな不運を帳消しにするかのような戦いをみせていった。

P.MU/CERUMO・INGING の 2 台のうち、先にピットストップを行ったのは阪口。51 周のレースのうち後半戦となる 32 周にピットインを行い、13 番手でコースに復帰すると、35 周目には #6 太田格之進をパス。12 番手につけていく。前を走るのは 11 番手の #65 佐藤蓮、さらに 40 周目にピットインした #20 平川亮という顔ぶれだ。あとふたつポジションを

上げればポイント圏内に届いていく。

一方、#15 ローソンを従えながらトップを走り続けていた坪井は、クリーンな状況で走行が続けられていたものの、終盤に燃料が減り軽くなってもなかなかペースを上げられずにいた。先にピットインを行っていたライバルたちの方がペースが優り、このままピットインを遅らせても彼らの後方に入ってしまう。セーフティカーが出る可能性にける戦略もあったが、この日の展開ではなかなか出そうにもなかった。

坪井は 38 周目にピットインを行うと、フレッシュなタイヤで後半の巻き返しを狙うことにした。9 番手でコースに戻った坪井は、#20 平川のピットインにともない 8 番手へ。さらにプッシュを続け、フィニッシュの 2 周前には #18 国本雄資をかわし 7 位でフィニッシュした。劇的な追い上げはなかったが、苦しい状況ながらもポイントを得てレースを終えることになった。

そしてドラマチックなフィニッシュを遂げたのは阪口。43 周目に #65 佐藤をかわすと、最終周の最終コーナー立ち上がりで #20 平川をオーバーテイク。わずか 0.041 秒差で 10 位に食い込み、ポイント獲得を果たしてみせた。



COMMENTS

ドライバー／監督コメント



38 坪井 翔 SHO TSUBOI

「レースはセーフティカーのリスクもあるので、なるべくピットストップを遅らせようと思いましたが、中盤以降なかなかペースを上げられませんでした。結果論から言えばペースが悪かったので早めにピットに入るべきだったかもしれませんが、いずれにしるペースの遅さが敗因です。早めにピットインしていたライバルも多かったため、終盤、フレッシュなタイヤを使って抜けるチャンスもあったのですが、それも活かさないくらいでした。ロングランへの課題はずっとありますが、今回は特にひどかったですね。今後得意なコースが続くので大丈夫ではないかとは思っていますが、この課題の解決に向けて、来週のテストでしっかりと取り組んでいかなければいけません」



39 阪口 晴南 SENA SAKAGUCHI

「ポイント獲得まで順位を上げることができて良かったです。最後は平川選手を抜くこともできましたね。今季はこれまでポテンシャルが上がっていて、予選では不運もあり、今回は後方からのスタートとなりましたが、ペースが上がらないライバルに対して競っていたときはまだしも、単独走行になったときには上位のライバルたちにも劣っていない良いタイムを記録することができました。これまでの決勝レースとの挙動ともまた違いましたので、今後に向けてすごく良い手ごたえがありました。次戦は富士ですが、予選から良い位置につけたいですし、上を目指してさらに課題を見つけないです。テストもあるので、誰よりも有意義な2日間をしたいですね」



立川 祐路 監督 YUJI TACHIKAWA

「坪井選手については決勝ペースがかなり悪かったので、苦しい展開になってしまいました。原因はまだ分かりませんが、レース直前のウォームアップまで悪くなかったので、予想外でした。今後しっかりと原因を探らなければいけません。一方阪口選手は、昨日の不運な予選から最後尾スタートとなりましたが、ポイント獲得まで追い上げてくれたので、僕たちの予想を上回るレースだったと思います。クルマもレースを重ねるごとに戦える状態になっていると思いましたが、予選で前につけることができればさらに上位で戦えると思います。戦える状態になっていると思うので、次戦は2台揃って上位で争えるよう、しっかり準備していきたいです」



RACE REPORT

RESULT リザルト

第5戦スポーツランド SUGO 決勝結果

Pos.	No.	Driver	Car	Engine	Laps	Total Time	Gap
1	37	宮田莉朋	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA/TRD 01F	51	1h02'19.412	
2	1	野尻智紀	Red Bull MOTUL MUGEN SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	51	1h02'41.684	22.272
3	5	牧野任祐	DOCOMO DANDELION M5S SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	51	1h02'46.373	26.961
4	14	大嶋和也	docomo business ROOKIE SF23	TOYOTA/TRD 01F	51	1h02'48.489	29.077
5	15	L. ローソン	Red Bull MOTUL MUGEN SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	51	1h02'48.635	29.223
6	7	小林可夢偉	Kids com KCMG Cayman SF23	TOYOTA/TRD 01F	51	1h02'49.361	29.949
7	38	坪井翔	P. MU/CERUMO・INGING SF23	TOYOTA/TRD 01F	51	1h02'55.918	36.506
8	3	山下健太	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA/TRD 01F	51	1h02'58.276	38.864
9	18	国本雄資	Kids com KCMG Elyse SF23	TOYOTA/TRD 01F	51	1h02'59.407	39.995
10	39	阪口晴南	P. MU/CERUMO・INGING SF23	TOYOTA/TRD 01F	51	1h02'59.789	40.377
11	20	平川亮	ITOCHE ENEX TEAM IMPUL SF23	TOYOTA/TRD 01F	51	1h02'59.830	40.418
12	65	佐藤蓮	TCS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	51	1h03'00.630	41.218
13	64	山本尚貴	TCS NAKAJIMA RACING SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	51	1h03'13.806	54.394
14	4	小高一斗	REALIZE Corporation KONDO SF23	TOYOTA/TRD 01F	51	1h03'18.425	59.013
15	6	太田格之進	DOCOMO DANDELION M6Y SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	51	1h03'22.832	1'03.420
16	12	福住仁嶺	ThreeBond Drago CORSE SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	51	1h03'23.440	1'04.028
17	55	C. ブリュックバシエ	TGM GP SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	51	1h03'31.362	1'11.950
18	51	R. ハイマン	BYOUBUGAURA B-MAX SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	50	1h02'36.824	1 Lap
以上完走							
-	50	松下信治	BYOUBUGAURA B-MAX SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	33	42'27.081	18 Laps
-	53	大湯都史樹	TGM GP SF23	HONDA/M-TEC HR-417E	30	39'05.232	21 Laps
-	36	G. アレジ	VANTELIN TOM'S SF23	TOYOTA/TRD 01F	3	6'04.023	48 Laps
-	19	関口雄飛	ITOCHE ENEX TEAM IMPUL SF23	TOYOTA/TRD 01F	2	8'02.697	49 Laps

ドライバーランキング

Rank.	No.	Driver	Total
1	37	宮田莉朋	75
2	15	L. ローソン	63
3	1	野尻智紀	58
4	38	坪井翔	50
5	20	平川亮	28
6	3	山下健太	28
7	5	牧野任祐	19
8	65	佐藤蓮	11
9	53	大湯都史樹	11
10	14	大嶋和也	10
11	64	山本尚貴	10
12	7	小林可夢偉	10
13	39	阪口晴南	8
14	12	福住仁嶺	8

チームランキング

Rank.	No.	Driver	Total
1		TEAM MUGEN	110
2		VANTELIN TEAM TOM'S	72
3		P.MU/CERUMO・INGING	52
4		KONDO RACING	33
5		ITOCHE ENEX TEAM IMPUL	28
6		TCS NAKAJIMA RACING	21
7		DOCOMO TEAM DANDELION RACING	19
8		Kids com Team KCMG	13
9		docomo business ROOKIE	10
10		TGM Grand Prix	9
11		ThreeBond Racing	8